



「救命救急の実際」研修



新任者69名を対象に、救命救急の実際の研修を行いました。救命救急認定看護師より講義と心肺蘇生に関するデモンストレーションが行われ、看護職員としての院内急変に対応できるスキルを学びました。COVID-19の感染防止のため個々の実技演習はできませんでしたが、デモンストレーションをスクリーンに映し、イメージ化を図りました。また、体調を確認し三密を避けて換気を徹底しながら研修を実施しました。



★ 気道の確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AEDの使い方について説明がありました。
★ 応援を呼ぶときにはスタートコールや緊急コールを活用することや、院内のAEDが設置されている場所を改めて確認しました。



認定看護師によるデモンストレーションは、スクリーンにリアルタイムに投影され、臨場感があり、研修者は真剣な様子で聴講していました。



最後に救命救急の一連の流れを確認しました。絶え間ない胸骨圧迫が重要であり、そのためにもチームワークが鍵となることを学んでいました。
● 病棟勤務において既に急変対応を経験したことのある研修者もあり、急変場面で冷静に対応するためのイメージを描いていました。



院内体験

期間：8月～11月

卒後2年目看護職員に対して「院内体験」研修を行いました。この研修は、研修者が希望した部署に行き、他部署とのつながりや看護を体験し、看護の継続や自部署で経験できない看護技術を学び、自分の看護に活かすことを目的としています。本年度はCOVID-19感染拡大の影響もあり、一部の研修者は次年度に研修を実施することとなりました。



1か月後の自部署での看護実践報告では「患者からの手術や検査の質問に、より具体的に説明できた」「患者の現状と引き続き必要な看護を申し送り、他部署との連携を図れた」など学びを活かしていました。



光学診療部・放射線部 9階東ナースステーション 救命救急センター
★新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。
看護職キャリア支援 教育担当